

「わくわ〜くちば100号に想う」

NPOワーカーズコレクティブ千葉県連合会の機関紙「わくわ〜くちば」100号を記念して、座談会を行いました。会員や関連団体へ向けて発信する紙面を作成する上での企画、制作の工夫、そしてそれがW.Coメンバーや事業所にどのように位置付いてきたのかをお話いただきました。

参加者：西山美代子さん (企)W. Co回転木馬
猪俣悦子さん 編集ワーカーズ・くれよん
風間由加 (企)ワーカーズ・結(広報部)
橋本裕子 W. Coゆうウェルネス(広報部)



(左から) 橋本、西山、猪俣、風間 (敬称略)

風間：今日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。昨年はワーカーズコレクティブ千葉県連合会結成20周年、機関紙「わくわ〜くちば」が今号で通算100号です。100号に寄せる思いを、今までを振り返り、これからの



発展に向けてお話しただけならと思います。

猪俣：連合会になる前の「連絡会」時代から、機関紙は「ワーカーズ」として発行されていて、いろいろな企画がありました。

風間：そうですね。事業所への『突撃インタビュー』とか？

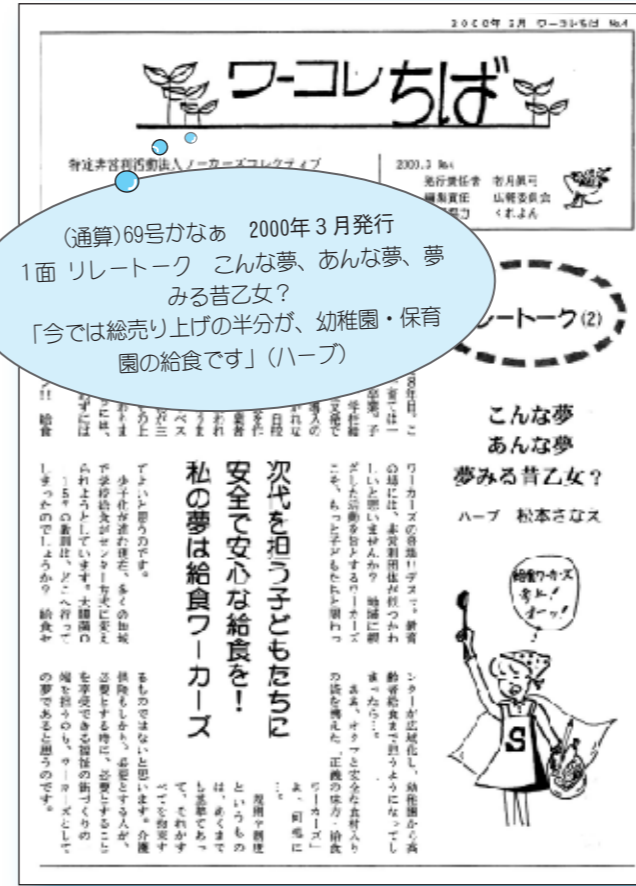
猪俣：『突撃インタビュー』や『おじゃまワーカーズただいま参上!』、『ワーカーズ探偵団』もね…。自分の分野でないワーカーズに行くと、例えば、食べ物屋さんやリサイクルショップに行くとか。編集ワーカーズがウィンドーに行くと、料理を作るのを一緒に手伝ったり。

風間：ワーカーズ同士の交流ですね。

猪俣：そうですね。まず知って、いろいろな話や悩みなどを聞いて、自分の事業所の参考になる。自分のワーカーズとは様子は違うけれど、食べ物やサービスをどうやって作っているんだとか、大変なところとか、料理に対する思いとかを知って、おもしろかったですね。そうすると、運営委員会に行っても、お互いに理解を深めていると、人間関係が良くなりますよね。

風間：会議の話し合いだけではなくてね。

猪俣：別に運営委員でなくてもいい。いろいろな人が『突撃インタビュー』に行くといいと思いますよ。その時に写真も撮ってもら



(通算)69号かなあ 2000年3月発行
1面 リレートーク こんな夢、あんな夢、夢みる昔乙女?
「今では総売り上げの半分が、幼稚園・保育園の給食です」(ハーブ)

って、それを記事にしていましたね。私が行ったのは1回だけでしたが、とても良かったですよ。いろんな業種のことを知るといのがおもしろくて。印象に残っているのはその企画ですね。

風間：創刊号は「わくわ〜くちば」という名称ではなく、「ワーカーズ」という硬い名称だったようです。

西山：私は、「わくわ〜くちば」というより、「新しい働き方を始めたいあなたへ」というガイドブック2009を作ったのが印象に残っています。今のガイドブック作成には、ものすごい時間をかけましたね。「わくわ〜くちば」に関しては、このガイドブックを作っていく過程で、「事業経営チェックシート」とか「働くルール作り」など作り、そ

の内容で広報部がアンケートを取ってその結果を載せたのが、印象的でおもしろかった。作るほうは、時間をかけて作っているにもかかわらず、皆が読まないという課題解決のための一工夫でしたね。ワーカーズメンバーとしての認識を深めるために「わくわ〜くちば」を活かす。例えば、事業所の定例会議の中で記事を取り上げ、皆で学習し合うとか。おもしろいと思ったのは、この事業経営チェックシートで、「会議ってどうやってやっているんだろう?」「時間を決めていますか?」「議長を代えていますか?」「レジュメを作っていますか?」とか。案外こういうことがされていない。大きな事業所ではチェックしているのだけれど、小さい所ではなされていないとか。また、「情報を共有する」ってどういうことか、いろいろなトラブルから調べてみると、情報がどこかでストップしているから、事業の意欲につながらない。経営者意識がなくなるというのは、情報だ。「情報を共有するためにどうするか」を広報部からの提案で、運営委員会で話し合いましたね。

猪俣：会議(ミーティング)をしたら議事録を作って、誰でも見える所に貼っておくとかね。会計係も順番にやっているとか。各事業所の運営の違いがわかりましたね。

西山：機関紙の内容が報告ばかりではしょうがないよねえという声もありますよね。

猪俣：アンケートをやった後に、各事業所でどうい変化がありましたか?ということも、紙面に載せましたよね。

風間：なるほど。会員相互の意識形成が、ある程度できる紙面作りですね。

西山：そうですね。98号にDVD「涼子の選択」という紹

介があり、観てみたいなと思いましたね。それから映画「ワーカーズ」、これも「上映されました」なんですよ。橋本：そうですね。でも、「ワーカーズ」は今年7月27日に上映会(8面のイベント情報参照)がありますよね。私は、ポレポレ東中野で観ましたが、ぜひ皆さんに観ていただきたいと思いました。

猪俣：講演の記事などは、報告でも勉強になるんですけど、これから参加できるお知らせもあるのがいいわね。

西山：みんながワーカーズとして自立していくきっかけになるような、投げかけができる紙面作りを。

風間：なるほど。本当に必要なことは、情報を伝えて各事業所に活かしていく。

西山：そういう役目もね。風間：先程の「読まない人に対して、どうしたらいいか」ですが…。

猪俣：書く人が多いほうが、興味を持つし読みますよね。

西山：関わる人を多くするということですね。

風間：広報部としては紙面作りには一生懸命ですが、「わくわ〜くちば」の活かし方をもっと考えたらいいですね。

西山：どうしたら読んでくれるか。

風間：今日は、これからの課題も見えて有意義でした。ありがとうございました。



一つの時代を共有した仲間たちに会える楽しみ

設立当時から機関紙の版下制作を請け負ってきた「くれよん」でしたが、リニューアルに伴う発注先の公募はまさに青天の霹靂。今から10年前の話です。「唯一の編集ワーカーズなのに審査に外れたら面目は立たないし、どうする?」「でも、受けて立とう」というメンバーの声で、見積もり書に機関紙名変更、イメージ刷新のためのレイアウト担当変更等の企画提案を書いて提出しました。結局応募したのは2団体で、審査の結果、「くれよん」に決まってほっとしたのも束の間、タイトルデザインなど何回も案を求められて担当は大変だったと思いますが、新人ながらデザイン力を持った人だったので何とか難問突破。仕事は自動的に降りてくるものではないということを考えさせてくれた出来事でした。また、新米の私たちに仕事をくださり、育ててくれた皆さんのおかげで今の私たちがいるということも思い出させてくれました。

過去の機関紙を読み返すと、書き手や登場した人の顔が浮かんできます。一つの時代を共有した仲間たちに会えるのも、機関紙を読む楽しみと言えないのではないのでしょうか。 編集ワーカーズ・くれよん 鈴木美智子

事業経営チェックシートを使って あなたの事業所の経営診断を

日々、仕事に追われていると、自分の事業所が目標に沿って運営されているか、メンバーの意見や提案が十分反映されているか、点検せずに過ぎていってしまうものです。メンバー全員が思いを共有し、元気にワーカーズ・コレクティブという働き方を続けていくためにも、客観的な診断は必要です。広報部では、チェックシートを使って各事業所の実態を知ること、課題・問題点、解決の方向性を探ろうと、アンケートと座談会を実施しました。

| Q | 回答 | 12事業所 |
|---------------------------|------------------------------------|-------|
| 毎月、定例会議を開いていますか? | はい 12 / いいえ 0 | |
| レジュメは事前配布されていますか? | はい 6 / いいえ 6 | |
| 報告事項と討議事項は分かれていますか? | はい 9 / いいえ 2 どちらともいえない 1 | |
| 月次決算が報告されていますか? | はい 10 / いいえ 1 / 時々 1 | |
| レジュメの作成者は誰ですか? | 代表 5 / 議長 3 / 事務局 2 / 理事 1 / 無回答 1 | |
| メンバー全員が出席していますか? | はい 12 / いいえ 0 | |
| 議長・書記は持ち回りですか? | はい 7 / いいえ 5 | |
| 会議は時間を区切り、時間を守って開催していますか? | はい 10 / いいえ 2 | |
| 一人ひとりが課題を持って会議に臨んでいますか? | はい 8 / いいえ 2 | |
| 代表・会計などの役割分担が明確ですか? | はい 12 / いいえ 0 | |
| 役割ごとの責任範囲が明確ですか? | はい 10 / いいえ 2 | |

アンケート結果から

アンケートから見える千葉のW. Coの実態

アンケート結果を見ると、どの事業所も毎月全員出席を基本に、定例会議を開いています。目的は事業所の現状把握と次月の予定・対策、情報共有、課題の整理や共通認識などで、全員が発言し、重要事項を決定するよう努めている点は、どの事業所も共通しています。ただ、事前に討議事項をメンバーに知らせている事業所は少なく、短い時間で効率的に、十

81号 2009年5月発行
事業経営チェックシートって、今まで活用してなかったわ。早速チェックしてみよう。新しいアイデアが浮かぶかもしれないわ。

しっかり読んで参加する人、当日で見る人と、会議に臨む姿勢は全然ちがいます。